

## 平成30年度 安芸高田市の「仕事目標」

広報あきたかた7月号に掲載した安芸高田市「仕事目標」の上半期進捗状況を次のとおり公表します。

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
総務部	情報管理課	ICT利活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民票等のコンビニ交付サービス事業を開始（7月）</li> <li>ICTを活用した高齢者見守りシステム実証実験を実施</li> <li>支所業務の見直しに伴い、自動交付機導入等を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニ交付サービス開始（7月1日）</li> <li>高齢者見守りシステム実証実験に向け、協力世帯を選定</li> <li>自動交付機導入等については、関係部署、機関と継続協議</li> </ul>
	危機管理課	防災活動普及促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>想定最大規模降雨に対応したハザードマップの作成及び市民への周知、啓発</li> <li>自主防災組織未結成地域の組織化及び自主防災活動の取組強化等の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>浸水想定区域と土砂災害警戒区域等を一つにした吉田町分のハザードマップを試作（9月）</li> <li>吉田町六日市自主防災組織に、広島県自主防災アドバイザーを派遣して活動を支援（7月）</li> <li>高宮町羽佐竹で自主防災組織結成〈組織率92.3%〉（9月）</li> </ul>
	財産管理課	八千代支所移転事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>八千代フォルテ内へ八千代支所事務機能を移転し、平成31年4月の開設を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内関係部署により八千代支所平面レイアウトの協議を行うとともに、8月末までにフォルテ内各テナントへ支所入居に関する説明を実施</li> </ul>
企画振興部	財政課	行政改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次行政改革推進実施計画で掲げた各改革項目の進捗管理と効果検証を行い、必要な改善、課題の解決に全庁をあげて取り組む</li> <li>業務改善とワークスタイルの見直しを推進するため、事業の優先性や事業効果を重視した点検作業（仕事見直し）を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次行政改革推進計画の29年度実績と効果額を整理（「職員定員適正化」や「市債繰上償還」は着実に成果がでているものの、「施設の適正配置」「事務事業の見直し」は改善の余地があり、取り組みを加速させる必要がある）</li> <li>仕事見直しヒアリングを実施し、事務事業の量的削減を徹底して行うこと及び事業手法の改善等、質を高める工夫を検討・実施していくことを確認（8月）</li> </ul>
	政策企画課	道の駅整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が有する「観光」「歴史・文化」「農業」などの地域資源を集約する核となる施設「道の駅」を、平成32年4月の開業に向けて整備</li> <li>道の駅の運営母体となる組織や形態、運営方針を決定し開業準備体制を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅の運営母体となる市、JA広島北部、広島駅弁当(株)、(一社)安芸高田市観光協会の4者での協議が整い、発起人代表者会を開催（8月1日）</li> <li>具体的な協議を行うため運営組織準備会を開催し、会社の商号、事業目的、出資金など、開業に向け協議を継続</li> </ul>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
企画振興部	地方創生推進課	ふるさと納税推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと応援寄附金を活用する5事業を明示し、市を応援しようという気持ちをさらに強く持っていただける仕組みを構築</li> <li>ふるさと応援寄附金額5,000万円を目指し、より多くの方に市の情報を届けるため、新たなポータルサイトへ登録</li> <li>企業版ふるさと納税制度の導入に挑戦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税のポータルサイトを新たに登録（9月に1つ、10月に2つ）し、より多くの方に利用していただけるよう整備</li> <li>田んぼアート事業に企業版ふるさと納税制度を導入すべく内閣府を訪問し（8月）地域再生計画作成の準備を開始</li> </ul>
	総合窓口課	ICT利活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月開始の住民票等のコンビニ交付に伴い、マイナンバーカードの普及率向上を図る</li> <li>マイナンバーカード取得者数を5,000人増やし、取得率30.0%以上を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカード交付臨時窓口を開設（6月23日～24日）</li> <li>コンビニ交付サービス開始（7月1日）</li> <li>成人式においてマイナンバーカード普及のPR活動を実施（8月15日）</li> <li>取得率13.08%（9月末現在）</li> </ul>
市民部	環境生活課	ごみ減量化対策事業 （リサイクル推進補助金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙、衣類、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、廃食油の集団資源回収等による、芸北広域きれいセンターごみ処理量の削減目標900t</li> <li>資源ごみ回収団体数を前年度より10団体以上増やし160団体を目指す</li> <li>各町において中核となる資源ごみ回収団体の支援を強化</li> <li>クールチョイス宣言※を行い、CO<sub>2</sub>排出抑制対策を啓発 ※次世代の暮らし方として選定した地球温暖化を防止するためのアイデアや行動を推進する国民運動の名称</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源ごみ回収団体数（取り組み実施予定含む）151団体（1団体増）</li> <li>市PTA連合会への資源ごみ回収啓発を実施（6月14日）</li> <li>環境省のクールチョイスに賛同登録し、地球温暖化防止に努めることを宣言（9月13日）</li> </ul>
	人権多文化共生推進課	多文化共生推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2次多文化共生プランに掲げる事業を実施</li> <li>拠点施設を活用した外国人市民と日本人市民の協働の場を確立し、月間50人の利用を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点施設利用者数月平均76人（5月68人、6月75人、7月80人、8月82人、合計305人）</li> </ul>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
福祉保健部	子育て支援課	24時間保育 子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 病児、病後児保育施設を併設した、幼保連携型認定こども園を甲田町に建設（平成31年4月開園）</li> <li>• 吉田町並びに甲田町の小学校統合に伴い、児童クラブ施設を整備し、利用を開始</li> <li>• 在宅育児世帯支援事業給付金を80世帯へ支給</li> <li>• ファミリーサポートセンター提供会員を70人に増員</li> </ul>	<p>【病児、病後児保育施設を併設した幼保連携型認定こども園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5月に用地造成工事が完了し、6月1日から園舎建設工事を開始</li> </ul> <p>【放課後児童クラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 甲田小学校隣接の施設工事を7月から開始（平成31年1月完成予定）</li> <li>• 可愛小学校校舎内の施設工事を9月から開始（12月完成予定）</li> </ul> <p>【在宅育児世帯支援事業給付金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 71世帯348万円を支給（第1回支援金給付額〈7月27日〉）</li> </ul> <p>【ファミリーサポートセンター事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 提供会員53人、依頼会員54人（8月末現在）</li> </ul>
	健康長寿課	生活支援員制度構築事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域全体で高齢者等を見守る体制を市内全域に構築するため、23地域振興会と生活支援員制度の協定を締結し、既存の見守り制度の統合を進める（12月まで）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 13振興会、6単位振興会、2行政区にて見守り活動を実施中、3振興会、2単位振興会が協定に向け検討中（9月1日現在）</li> <li>• 生活支援員制度実行政区183（全体の34.7%、高齢者数の38.5%、75歳以上高齢者数の41.8%）</li> </ul>
		温泉などの観光施設を活用した健康づくり・冬季等お太助ハウス利用助成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平日の市内の観光施設等の利用促進を含め、百歳体操やウォーキングの取り組み、引きこもり防止、介護予防による心と体の健康促進を図り、健康寿命の延伸を目指す</li> <li>• 積雪等で孤立が懸念される地域の高齢者等に対して、緊急避難的な住まいの確保を支援し、安心して生活できる環境を整備</li> </ul>	<p>【温泉などの観光施設を活用した健康づくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 市内3観光施設*において、日帰りまたは1泊2日の事業を開始（9月10日から）</li> </ul> <p>【冬季等お太助ハウス利用助成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 市内3か所*に設置することで観光施設と協議を完了（12月1日～3月31日）</li> </ul> <p>※市内3施設 …神楽門前湯治村、たかみや湯の森、エコミュージアム川根</p>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
産業振興部	農林水産課	「森の学校」プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山に関心を持っていただくため、親子で参加できる講演会を開催（7月）</li> <li>・次世代を担う子どもたちの心の育成と森林環境教育のため、市内外の小学生協同の森林体験を実施（10月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で森林保全の大切さを学ぶイベントとして、講演会とカブトムシの飼育方法や捕まえ方などを学ぶ教室を開催し、約300人が参加（7月22日）</li> </ul>
	地域営農課	道の駅整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅の産直市等の農業振興部門を充実させるため、JA広島北部や関係団体と連携し、野菜、果樹、加工品の生産拡大の推進、集荷体制及び産直連携の検討など販売増に向けて取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JA広島北部と定期的にプロジェクト会議を開催</li> <li>・JA広島北部と連携し、野菜、果樹、加工品の生産拡大を推進するためアグリセミナーを開催（野菜9講座、果樹2講座、加工2講座）</li> </ul>
		大規模農業団地整備推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽佐竹地区の大規模野菜団地へ参入する担い手が円滑に営農を開始するために、パーク堆肥を使用した土層改良等の条件整備を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2法人についてパーク堆肥を活用した土層改良事業を実施し、5.37haが完了（全体面積6.23ha）</li> </ul>
	商工観光課	道の駅整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信棟、外構（山城門周辺、多目的広場、キューブボックス）の仕様を決定（6月末まで）</li> <li>・市観光協会への道の駅運営組織への参画を決定（9月末まで）</li> <li>・道の駅における観光振興、情報発信の運営計画を策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関をはじめ、関係部署と設計会社との協議を踏まえ、情報発信棟及び外構の仕様を決定し、実施設計に反映</li> <li>・市観光協会に対し道の駅の運営組織への参画について協議、依頼を行い、管理運営組織の構成団体として参画することを決定</li> <li>・市観光協会と連携し、観光振興及び情報発信にかかる運営について協議</li> </ul>
		観光推進事業 （田んぼアート整備事業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「田んぼアート」実施圃場等整備用地を決定（10月末まで）</li> <li>・8品種の鑑賞米試験栽培によるデータ収集等を実施（11月末まで）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に策定した安芸高田市周遊性促進事業（田んぼアート整備事業）調査報告書の田んぼアート候補地から、実施場所を選定</li> <li>・（株）源流の里に市内実験圃場での鑑賞米試験栽培による生育検証、データ収集業務を委託</li> </ul>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
産業振興部	商工観光課	地域での仕事づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>お試しオフィスの改修工事を完了（8月末まで）</li> <li>改修したお試しオフィスを有効活用し、最大15組のお試しオフィスモニターツアーの実施と、5事業者のサテライトオフィス誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お試しサテライトオフィスとして使用する研修棟及び宿泊コテージの改修請負業者を決定し、改修中</li> <li>7月豪雨の影響により延期となったお試しオフィスモニターツアーを実施（7社が参加）</li> </ul>
	住宅政策課	空き家活用促進・住環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>移住希望者のニーズに合わせた情報を提供し、市外からの移住、定住者15組35人を目指す</li> <li>「空き家バンク」制度を周知、活用し、新規空き家登録件数50件、賃貸及び売買成約件数50件を目指す</li> <li>近隣市から市内事業所への通勤者をターゲットに、優良住宅団地整備区画20区画を目指す</li> </ul>	<p>【空き家情報バンク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き家情報バンクに登録されている物件を活用して、市外から8組18人が移住</li> <li>新規物件21戸（全67戸）が登録され、13戸が契約成立</li> </ul> <p>【優良住宅団地整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吉田町常友に優良住宅団地開発支援補助金を利用して10区画を民間事業者が整備中</li> </ul>
建設部	建設課	東広島高田道路整備促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島県西部建設事務所が12月にトンネル工事の請負契約を締結、ボックスカルバート工事を完了</li> <li>吉田側下流排水対策工事を実施</li> <li>トンネル残土処分地の年度内の取得を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島県西部建設事務所がトンネル工事を公告（8月）</li> <li>正力側ボックスカルバート工事を完了（8月末）</li> </ul>
		道の駅整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅施設整備のため国土交通省と事業調整を行い、本年度内に用地買収、建物移転補償事務を完了し、施設造成、市道改良工事の一部を完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市分の用地買収、建物移転補償事務を完了</li> <li>施設造成工事、市道改良工事を公告及び契約</li> </ul>
	上下水道課	上下水道料金改定に向けた周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者負担の適正化と会計の健全化を図るため、条例改正を行い水道料金及び下水道使用料を改定</li> <li>12月使用分から新料金制度への料金改定を目指す</li> <li>市民の皆さまへパンフレットの配布、広報紙などにより周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道料金審議会より答申を受け、答申内容について議会に報告するとともに、広報紙にも掲載</li> <li>条例改正については、9月議会へ上程し、12月使用分（平成31年2月請求分）から料金改定</li> </ul>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
教育委員会	教育総務課	ICT利活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>•学力定着のための副教材（ドリル等）及び効果的な授業を行うための学習支援ソフト搭載タブレット端末を活用した授業の全市展開へ向けた環境整備（平成31年度開始）</li> <li>•ICT教育定着のための支援員配置に向けた検討並びに研修を通じた教員の意識改革とICT活用能力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•市内全小学校の普通教室へ電子黒板の導入を完了（今年度導入：可愛小学校7台、川根小学校3台、来原小学校6台、船佐小学校5台、合計21台）</li> <li>•各学校の代表者（情報教育推進員）で組織する「ICT教育推進協議会」を6月に設立</li> <li>•これまでに2回協議会を開催し、効果的な授業を行うための学習支援ソフト等の導入計画などについて協議</li> <li>•今後、月1回程度の協議会を継続開催し、本市のICT教育推進ビジョンについて取りまとめを行う</li> </ul>
	学校教育課 生涯学習課	学力向上推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>•児童生徒の確かな学力定着のため、広島県「基礎・基本」定着状況調査の児童生徒質問紙調査における学習意欲に関する項目の肯定率を3%向上</li> <li>•「外国語活動が楽しみ」「もっと英語を勉強したい」と思う小学生の割合90%以上</li> <li>•中学校3年生の英検3級取得率45%以上</li> <li>•地域未来塾において、学校との連携により、受講生個々の苦手分野をフォローする仕組みを確立</li> </ul>	<p>【確かな学力定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•市指導主事等が終日学校訪問を行い、授業改善について指導及び助言</li> <li>•全国学力・学習状況調査結果を受け、「学力向上対策委員会」を立ち上げ、今後の取り組みについて協議</li> </ul> <p>【外国語力強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•外国語教育充実プロジェクトに基づき、学校教育推進アドバイザーを各校に派遣し、授業改善について指導及び助言</li> <li>•英検3、4級の取得を目指した「英検道場」を開催し、受講者に対しての指導を充実</li> </ul> <p>【地域未来塾】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•市内全小学校を対象に「地域未来塾」を開講</li> <li>•学校との連携により、受講者個々の学習状況に配慮した自主学習のアドバイスを実施</li> </ul>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	上半期進捗状況
教育委員会	学校統合推進室	学校規模適正化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 統合校となる可愛小学校の改修工事を実施</li> <li>• 高宮地区小学校統合準備委員会を設置</li> <li>• 中学校の規模適正化に向けた調査、研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 可愛小学校既存校舎改修工事を発注し、2学期から一部を使用開始</li> <li>• 高宮地区の小学校統合準備委員会を正式に設置し「統合目標年月日」「統合校の位置」について協議を開始（8月10日）</li> </ul>
産業振興部 企画振興部	地方創生推進課 商工観光課	民泊推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「民泊・体験プログラム」のモデルを確立</li> <li>• 「民泊・体験プログラム」のモデルについて広報、説明し、協力者を募集（30件）</li> <li>• 「民泊・体験プログラム」の事業化、ツアー実施体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市内の「民泊・体験プログラム」の実践者、協力者にヒアリングをし、本市の特徴を活かした実践方法について検討</li> <li>• 「民泊・体験プログラム」の実施協力者を集めたワークショップを行い、より魅力ある「民泊・体験プログラム」の作り込み、民泊の法制度の解説などを実施（10月3日～3月末）</li> </ul>